

城西 日本・スロヴェニア シンポジウム

女性作家と女性映画監督 — その歴史的意義

2015 6月22日(月) 12:30開場 13:00開始

会場：城西大学東京紀尾井町キャンパス1号棟 地下ホール

【申込み先】 Fax.0475-55-7494 E-mail:igws@jiu.ac.jp

入場無料

同時通訳有

13:00-13:40

開会の辞

水田 宗子 学校法人城西大学理事長
ヘレナ・ドルノウシェク・ゾルコ(Helena Drnovšek Zorko)
駐日スロヴェニア共和国大使

13:40-14:10

女性監督による映像と講演

マヤ・ヴァイス(Maja Weiss) 監督
「アンゲラ・ヴォデのドキュメンタリー映画
『秘密の記憶』」

14:10-14:30

基調講演

カティア・ミフルコ・ポニシュ(Katja Mihurko Poniž)
ノヴァ・ゴリツァ大学准教授
「アンゲラ・ヴォデの自伝的小説『秘密の記憶』」

休 憩

14:40-16:10

パネル・トーク・セッション

ヘレナ・ドルノウシェク・ゾルコ(Helena Drnovšek Zorko)
(駐日スロヴェニア共和国大使)
マヤ・ヴァイス(Maja Weiss) (映画監督)
カティア・ミフルコ・ポニシュ(Katja Mihurko Poniž)
(ノヴァ・ゴリツァ大学)
村川 英(城西国際大学)
竹藤 佳世(城西国際大学)
林 千章(城西国際大学)

アクセス インフォメーション

- 東京メトロ有楽町線 麹町駅1番出口より徒歩3分
- 東京メトロ南北線 永田町駅9a 番出口より徒歩5分
- 東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅1番出口より徒歩7分
- 東京メトロ丸ノ内線・銀座線 赤坂見附駅D 出口より徒歩8分
- JR 中央線・総武線 四ツ谷駅より徒歩10分





学校法人城西大学創立50周年記念

城西 日本・スロヴェニア シンポジウム

参加者略歴

スロヴェニアから3人の女性ゲストー 駐日大使、映画監督、大学教授 ―をお招きします。
人権のために闘ったアンゲラ・ヴォデについてのドキュメンタリー映画
『秘密の記憶』をめぐって、映画、文学、フェミニズムの歴史的意義を語っていただきます。



スロヴェニア

ヘレナ・ドルノウシェク・ゾルコ (Helena Drnovšek Zorko)

駐日スロヴェニア共和国大使。兼大韓民国スロヴェニア共和国大使。
リュブリャナ大学卒業(歴史学英語学学士)。スロヴェニア共和国外務省入省。アイルランド、オーストラリアの大使を経て、2010年より駐日スロヴェニア共和国特命全権大使、2011年より大韓民国スロヴェニア共和国特命全権大使。

マヤ・ヴァイス (Maja Weiss)

映画監督、作家。1988年リュブリャナ大学ラジオ・映画・TV・芸術学部(AGRFT)卒業。スロヴェニア映画作家協会会長を務めた。「盗まれた子どもたち」(2014年)「アンゲラ・ヴォデ 秘密の記憶」(2009年)「水戦争」(2008年)など映画、TVドラマ、ドキュメンタリーの多数の作品で受賞している。

カティア・ミフルコ・ポニシュ (Katja Mihurko Poniž)

ノヴァ・ゴリツァ大学スロヴェニア文学准教授、人文科学部学部長。研究領域は初期スロヴェニア女性作家(特にZofca Kveder)、ハプスブルグ王朝の女性運動史、ジェンダー研究、デジタル人文科学、スロヴェニア文学とドイツ文学の関係。多数ある著作、編著には『Zofca Kveder全集』(全3巻)を含む。

日本

水田 宗子

学校法人城西大学理事長、比較文学者、詩人。
城西国際大学大学院院長、人文科学研究科教授。
研究領域はアメリカ文学と日本文学、女性学、フェミニズム批評など。

村川 英

城西国際大学メディア学部客員教授、映画評論家。
研究領域は映画史、日本映画、女性映画など。

竹藤 佳世

城西国際大学メディア学部准教授、監督、プロデューサー。『骨肉思考』でイメージフォーラムフェスティバル '98大賞。監督作『半身反義』(2008)『あがた森魚 ややデラックス』(2009)、プロデュース作『ぼくたちは見た 〜ガザ・サムニ家の子どもたち〜』(2011)他

林 千章

城西国際大学大学院人文科学研究科非常勤講師。
研究領域は女性学・ジェンダー論、フェミニズム批評など。

